

展示室内での撮影に関するお願い

江戸東京博物館

展示室内では貴重な資料を展示しており、開館時間中は多くのお客様が見学なさっています。お客様の観覧の妨げにならないように撮影を行ってください。展示室内での撮影にあたっては、次の点にご留意ください。

1 撮影の計画

- ① 撮影時間は原則として 2 時間以内におさまるように、計画してください。
- ② 平日の 9-10 時ごろ、または夕方以降（原則 18 時まで）が撮影のしやすい時間帯です。休館日（主に月曜日）は展示替え・メンテナンス等のため、撮影に対応できない場合がございます。
- ③ 展示室内には電源がありません。バッテリーをお持ちください。

2 撮影当日

- ① 「プレス腕章」を腕など目立つ場所に、身につけてください。
- ② 展示室内で走ると、見学中のお客様や展示品にぶつかる危険があります。走らないようにしてください。
- ③ 照明の使用の際、資料（模型を除く）に直接照明をあてないでください。また、お客様の見学の邪魔にならないようご注意ください。
- ④ 体験型展示を除き、展示品には触らないようにしてください。
- ⑤ 常設展の寄託・複製資料の撮影には、原所蔵者の許可が必要です（一点撮りの場合）。
- ⑥ 模型の上から小型カメラを使用しての撮影は、模型保護のためにお避けください。
- ⑦ 三脚をご使用の場合、お客様の見学の邪魔にならないように十分ご注意ください。また、混雑時は使用をお控えください。
- ⑧ 今回の目的以外で撮影物を使用することは一切できません。無断使用は固くお断りいたします。